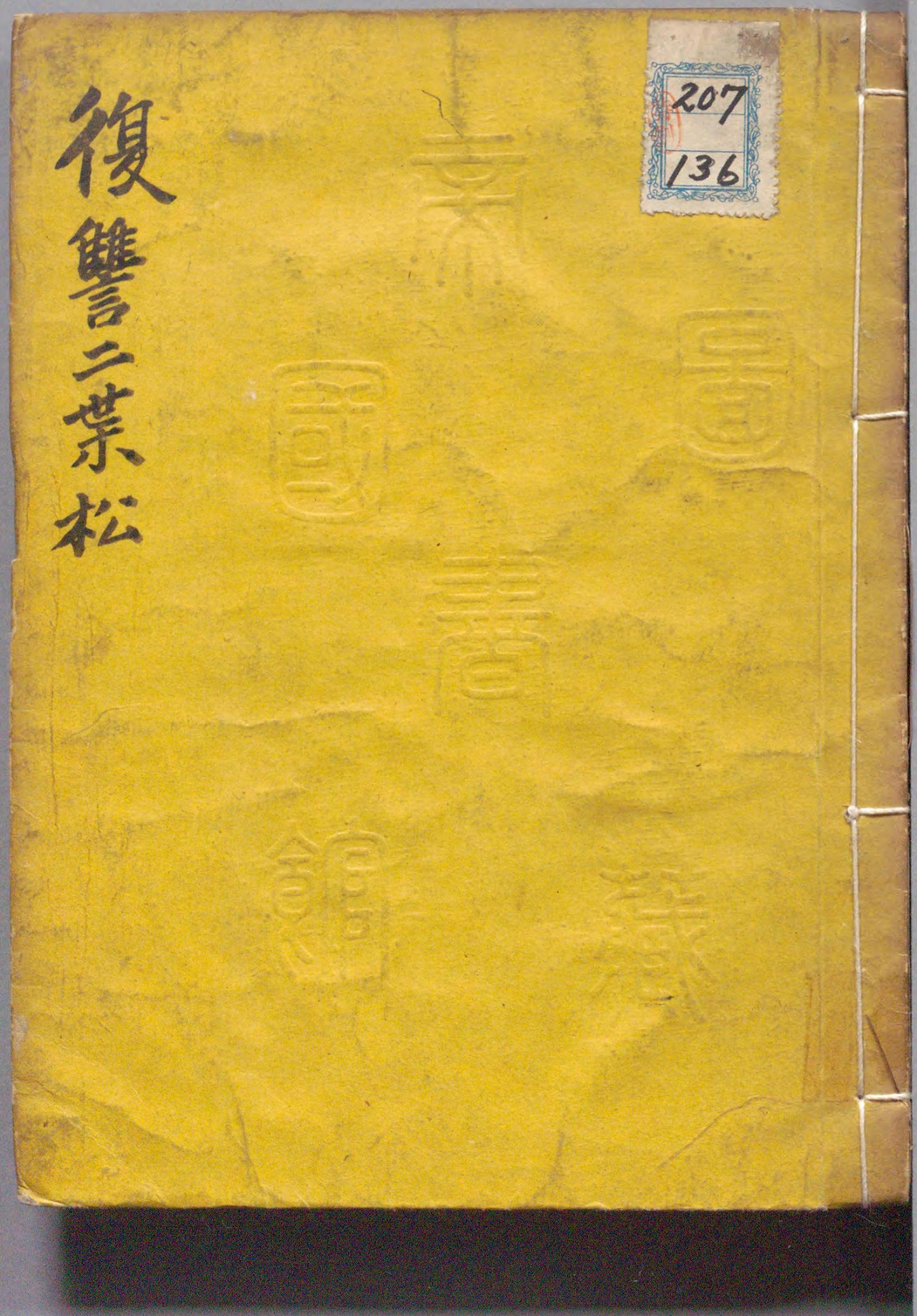


復讐二葉松

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

207
136

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

序一

君父の讐ホは共に天のいきぐ
かぐ也迫茂兄弟が孝平田が忠
いふ深ぎくし長せりと我もども
世者人の多く知らざるを
恒にさいはなれらまゝよろこるし
其謂たゞ夜をあらはん事矣
復讐二葉の松と題くして其微意
を述ぶ而已

卜辰春正月

国立国会図書館　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

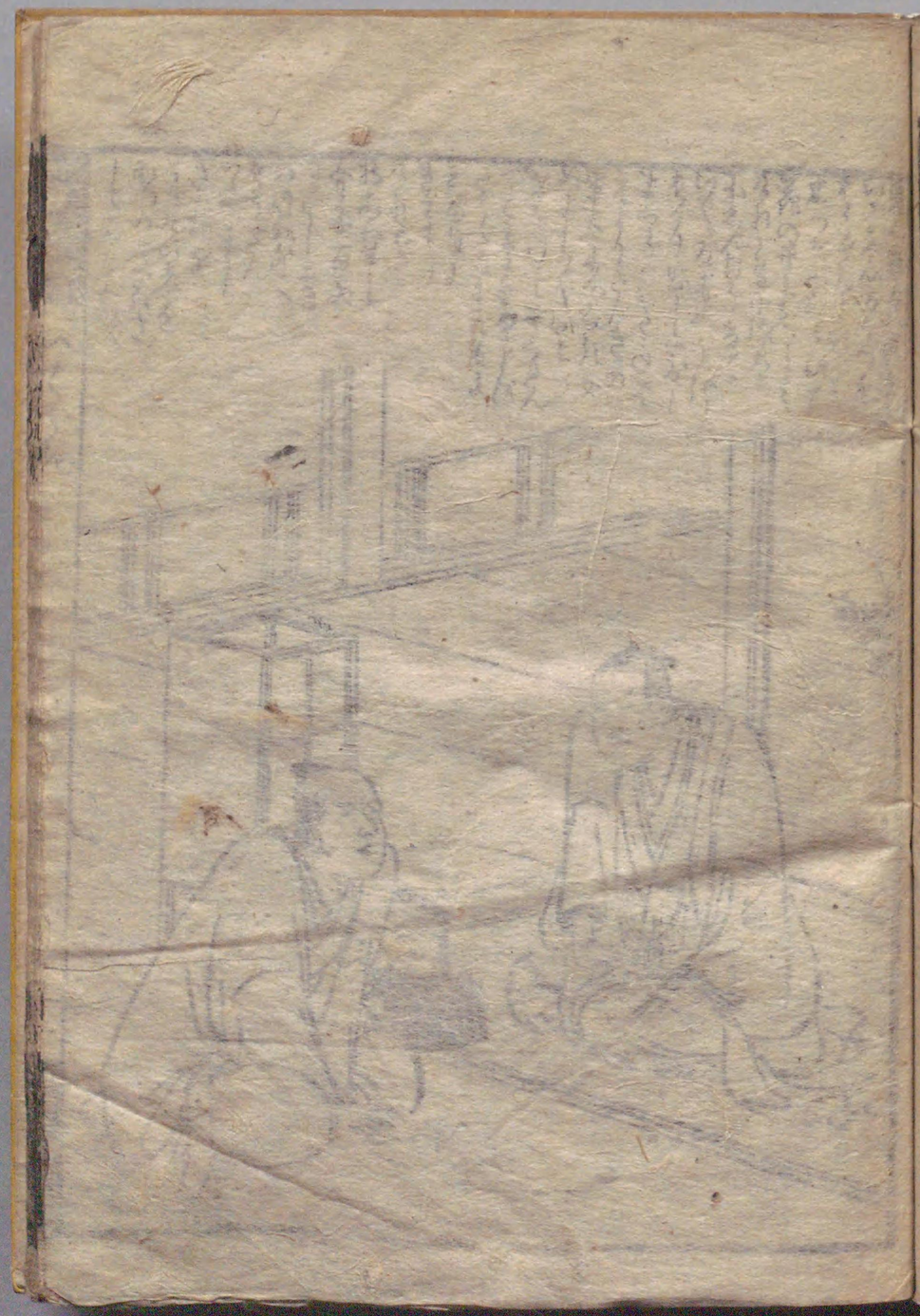
ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用



国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

山川小源太ハおつちふおもひて
軍太がおさけ出て花の舞
りうとも知んざを のうちへ久
室ちおよおる茶やを出して
そーいろ小源ちハ一もしおう
のべらくよろうても軍太が気の
あさけかろとて内ハ女房
がすうせ籠山へ入とんで軍太
み沈きくひ世をむらまうしき
申さるありわつ時軍太
やかろいさそうそめるやうり
かくとんがおそく仕太源きさあん
でうまござるう丈夫仕
れ入て使くみをやど
るすえりといふハ小源太を
並ハ殴りころ源作うるか
ふうれおんかうそうくい
今出ても中なるべしと
いふふうかとて我ら
其の上治右衛門ろもる
おそむきさふーしく
かろうねとぞ申すをお
よーしてうまてられよと
さるのを小源太おうるを
ぶきいとおもひ紀りて
歩きそうひおるを
さうくうどおのて
おりうの国なるぞ
まち くく

近藤治右衛門ハ毎月
十日廿三日ハきつろ川
まゐりて毎んだん川端
まりて毎お玄ろの
してくりろるそく
の川ごし少て
日も十日すありけ
まれおくく
ろり世居くり
るなはやし治右衛門
茶園がしきとかる
ありかのの花あれ
仏おへ夜やりてせん
をそふくせん香を
そて重る申夜さ
つろすあとらく
中ぬおもとくハおるか
えださぶ丈
むうひ晦日の世ろ
生きうにさてまう
ねとつさぶれた
えよの大ぶまの治
衛門の事やし
えをおそろハ百姓
町人のあたくかり
川端あぶ武門の
いさ私生のもく
いとハ武士の家
あかなかきとひざろのり

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

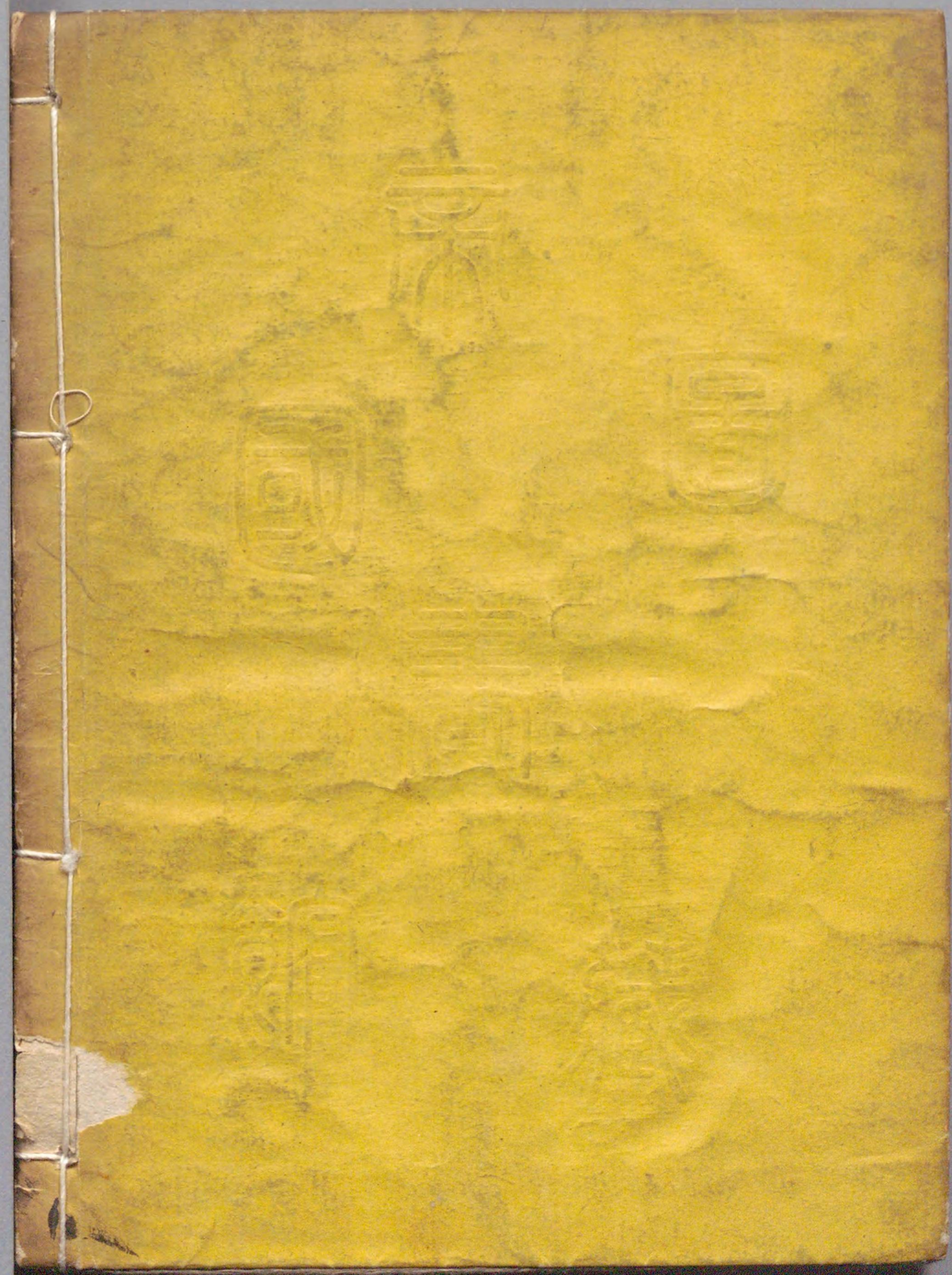
207
136

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用

国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用



国立国会図書館　　復讐二葉松 207-136

ガラス使用